

『三代目、りちゃあど』（東京芸術祭 2016 芸劇オータムセレクション）・『ロミオとジュリエット』
公演関連レクチャー

シェイクスピア 400 年のリブレイン

——解体、構築、そして再生へ——

講師：浜名恵美（東京女子大学現代教養学部教授、筑波大学名誉教授）

没後 400 年を経たシェイクスピア、その作品は今日も多様な翻案・演出で上演が繰り返されています。アジアを代表する演出家の一人であるオン・ケンセンの最先端の多文化・多言語演出においては、日本・シンガポール・インドネシア国際共同制作『三代目、りちゃあど』を含めて、さまざまな試みがなされています。相次いで亡くなった扇田昭彦と蜷川幸雄に鼓舞されて、リブレインという方法の特徴とする新進気鋭の演出家・藤田貴大が初めてシェイクスピアに挑み、『ロミオとジュリエット』を独自に構成して斬新に上演することを目指します。このレクチャーでは、シェイクスピアの国際共同制作、解体・再構築の意義について、『三代目、りちゃあど』と『ロミオとジュリエット』を中心に、世界シェイクスピア上演の動向や最新の理論を視野に入れながら考えてみたいと思います。

日時： 2016 年 11 月 15 日（火） 19:00-21:00

会場： 東京芸術劇場 ギャラリー 2（5 階）

料金： 500 円

※『三代目、りちゃあど』、または『ロミオとジュリエット』公演チケットをお持ちの方は無料

定員： 50 名 **先着順** ※ 要事前申し込み

【講師プロフィール】



東京生まれ。英国バーミンガム大学文学修士課程修了、東京都立大学大学院博士課程単位取得退学、オックスフォード大学等で研修、博士（文学）。専門はシェイクスピアを中心とする英語圏演劇。『ジェンダーの驚き：シェイクスピアとジェンダー』（日本図書センター）、『文化と文化をつなぐ シェイクスピアから現代アジア演劇まで』（筑波大学出版会）。分担著に『シェイクスピア・プリズム 英国ルネサンスから現代へ』（金星堂）、The Cambridge Guide to the Worlds of Shakespeare (Cambridge University Press) など多数。オン・ケンセン演出 Lear Dreaming 論、蜷川幸雄演出『ハムレット』論がそれぞれチェコ、ポーランドから近刊予定。

【お申込み方法】

メール education@tokyo-geigeki.jp まで

件名「シェイクスピア・レクチャー参加希望」として、下記を明記の上お申込み下さい。

- ① 氏名（ふりがな）
- ② ご所属
- ③ 公演チケットの有無
- ④ メールアドレス
- ⑤ 当日連絡用の電話番号

※こちらからの返信をもってご予約完了となります。

※お申込み時にいただく個人情報は、本講座以外の目的には使用しません。

【お問合せ】 東京芸術劇場 事業企画課 教育普及担当 03 (5391) 2116

東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre